

An Evening of

小松亮太 ★ 五重奏

# アルゼンチン タンゴの夜

Argentine Tango



2026年7月27日(月)

会場 セシオン杉並

開演 19:00 (開場 18:30)

※終演は20:15を予定しております。(休憩なし)

〒166-0011 東京都杉並区梅里1丁目22-32  
<https://www.sesion-suginami.jp/access>

## 曲目

- ◆ ガルデル：首の差で ◆ 久石譲：君をのせて
  - ◆ マトス・ロドリゲス：ラ・クンパルシータ
  - ◆ ピアソラ：悪魔のロマンス ◆ ピアソラ：イマヘネス676 (ほか)
- ※曲目は変更する場合がございます。

## 出演

- ・小松亮太 (バンドネオン)
- ◆ 近藤久美子 (ヴァイオリン) ◆ 鬼怒無月 (ギター)
  - ◆ 松本圭司 (ピアノ) ◆ 田中伸司 (コントラバス)

## チケット

全席指定 (税込)

- ◆ 前売り ————— ¥4,800
- ◆ 当日券 ————— ¥5,000
- ◆ 杉並区民割※ ————— ¥4,500

※杉並区民割はセシオン杉並窓口のみ取り扱い、杉並区在住、在勤、在学者対象 ※区民割の販売は7月25日まで。公演日当日は当日券料金となります。 ※未就学児の入場はご遠慮ください

## プレイガイド

- ◆ ローソンチケット — <https://l-tike.com> (Lコード：71850)
- ◆ **E+イプラス** — <https://eplus.jp/>
- ◆ 店頭販売 ————— セシオン杉並総合案内 (9:00 ~ 20:00)※

※窓口にて現金のみ、公演日2日前までのお取り扱い ※杉並区民割ご購入の際は、杉並区の本人住所確認書類 (免許証、保険証など、在住、在勤、在学であることがわかるもの) のご提示が必要です。

## ✦ 出演者プロフィール ✦



僕は現在杉並区内に在住している。足立区で生まれ、27歳まで足立区で育った僕にとって杉並区の家々のたたずまい(必ず門があって、その後ろに入口がある等など)には驚かされたが、あれから20年以上が経ち、今や杉並区は僕の故郷である。

その杉並区を代表する施設のひとつであるセッション杉並でコンサートを開催できることは、僕の杉並区に対する想いが少し天に届いた証左なのだろうか？

かつて、北千住でコンサートを開催したときのような緊張感と安堵感が同時にいま押し寄せている。

7月27日は是非ともご来場いただき楽しんでいただきたい！

バンドネオン **小松亮太**

1973年 東京 足立区出身。高校時代より才能を発揮し、18歳で伝説的歌手である藤沢嵐子の1991年のラスト・ステージではバンドネオン・ソロで伴奏を担当。1998年、ソニーミュージックよりCDデビュー。以来、アルバムは25枚以上を制作。カーネギーホールやアルゼンチン・ブエノスアイレスなどで、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。特にアルバム「ライブ・イン・TOKYO〜2002」がアルゼンチンで高く評価され、2003年にはアルゼンチン音楽家組合(AADI)、ブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された。2015年にリリースした大貫妙子との共同名義アルバム『Tint』は、第57回輝く!日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞。作曲活動も旺盛で、フジテレビ系アニメ『モノノ怪』OP曲「下弦の月」、TBS系列『THE世界遺産』OP曲「風の詩」など多数を手掛けている。2021年には430ページに及ぶ書籍「タンゴの真実」(旬報社)を上梓。ラジオ番組「小松亮太の音楽世界旅行」の司会進行も務めている。<https://ryotakomatsu.net/>



**近藤久美子**  
ヴァイオリン

東京音楽大学卒業。タンゴヴァイオリンを神野肇、フェルナンド・スアレス・パス両氏に師事。西塔祐三とオルケスタ・ティピカ・パンパを経て、バンドネオン奏者、小松亮太のユニットの主要メンバーとして活躍。アルゼンチンタンゴ界のビッグアーティストと多数共演している。またブラジルの民俗楽器バンドリンの奏者としてもショーロユニット「アレグリア・ド・ショーロ」を結成し、マウリシオ・カヒーリョやジョルジーニョ・ド・パンデイロなど著名アーティストとコンサートを行っている。



**鬼怒無月**  
ギター

1964年神奈川県出身。高校時代より音楽活動始める。1990年に自己のグループ、ボンデー・フルーツを結成。現在までに最新作の「bondagefruit6」(2005年)を含む6枚のアルバムを発表。ボンデー・フルーツは「Scandinavian Progressive Rock Festival」、サンフランシスコの「ProgFest '99」に招かれるなど海外での評価も高い。日々自己のギタースタイルを進化させ続ける異才ギタリスト。



**松本圭司**  
ピアノ

1973年生まれ。札幌出身。ピアニスト、キーボーディスト、アレンジャー。ギター、ウクレレ、マンドリン、ベースなども演奏する。幼少の頃から音楽に目覚める。エレクトーンを学び、中学生の頃、キーボードやギターなどを演奏し始める。1992年、高校卒業後上京し、ヤマハ音楽院入学。同時にキーボーディスト、ピアニストとして活動を始める。1998年末よりT-SQUAREに参加。アルバム「T-SQUARE」に自作曲4曲提供。2003年に1st ソロアルバム「Life」をリリース。最新は2024年リリースの「snowlore」。



**田中伸司**  
コントラバス

18歳でコントラバスに出会い中博昭氏に師事、国立音楽大学卒業。82年より室内楽などを中心に演奏活動を開始。90年以降は数多くのスタジオワークに参加。一方、91年にアルゼンチン・タンゴ界の巨匠、志賀清(Vn)、藤沢嵐子(Vo)の演奏に感銘を受けタンゴに傾倒。90年代度々渡垂し名手H.カバルコスの薫陶を受ける。志賀清、京谷弘司各氏のグループを経て、09年より小松亮太の各ユニットに参加。23年、ウルグアイのギターデュオBatimento duoと共演、25年にはウルグアイに招聘される。

### 会場案内



東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」徒歩5分、「新高円寺駅」徒歩7分